



3年学年通信

羅針盤

第13号
2018. 12. 13

心に響いた時間 ～共生学習～

道徳の時間と12月10日(月)11日(火)に、「共に生きてゆく社会を考える学習」の集中実践に取り組みました。

これから卒業までの数か月、自分のことで精一杯になっていくだろう今だからこそ
君たちに失ってほしくない「友と深くつながる大切な気持ち」を一緒に考えられた有意義な時間だった。

11日には中嶋さんのお母さんのお話を直接聞かせていただくことができ

家族のさっちゃんへの思いや期待、お母さんの気づき、葛藤、喜び・・・

そして私たちへの感謝の言葉と願いを聞かせていただくなど、とても充実した内容で心に響きました。

お母さんはさっちゃんの障がい個性として受け止め、日々強く成長している姿を頼もしく感じられているんだ！と思いました。

知らなかったことが多く、深く考えることのできた今回の集中実践を「わかった」「納得できた」で終わらせず

“共生”の意味を深くとらえ、障がいを持ち生活する人との関係だけではなく

「このこともそうだったんだー、じゃあやってみよう！」と周りのことを考え、次のアクションを起こして欲しい。

残り少ない学校生活 「あー、あの時にこうしておけば良かった・・・」って悔いを残さないためにも！

12月行事予定

日	曜	学 校 行 事	学 年 行 事	給食
17	月	期末懇談(全学年 50×4+総) 全校集会 月③④⑤⑥		○
18	火	期末懇談(全学年 50×4+総) 火③④⑤⑥		○
19	水	期末懇談(全学年 50×4+総) 水①②③④		○
20	木	木③④⑤⑥		○
21	金	金①②③④		○
22	土			
23	日	天皇誕生日		
24	休	振替休日		
25	火	終業式 油引き		



1月行事予定

7	月	始業式		×
8	火	第5回実力テスト①	第5回実力テスト① 1 国 2 社	×□
9	水	第5回実力テスト②	第5回実力テスト② 1 理 2 英 3 数	×□
10	木	木①③④⑤⑥	木②カット	○
11	金			○
12	土			
13	日			
14	祝			
15	火			○
16	水			○
17	木		②道 授業調整	○
18	金		⑥総 授業調整	○
19	土			
20	日			
21	月		①特 授業調整	○
22	火			○
23	水	学年末テスト① 1 国 2 数 3 保体		×
24	木	学年末テスト② 1 英 2 技家 3 音	④私立出願事前指導	×
25	金	学年末テスト③ 1 理 2 社	私立一斉出願 (要:弁当)	×



共に学び・共に育ち・共に生きる

共生学習感想より

みんなが幸せに過ごすには周りが
支えていかないとけない。

1組 男

さっちゃんが4歳の頃に立て
た時の感動が伝わった。

2組 男



共生社会をつくるために、自分ができ
ることはできない人に教えてあげ、で
きないことは教えてもらい協力するこ
とが大事だと思った。 3組 女

さっちゃんと学校におれるの
は後少しだけ…。仲良くしてい
きたいです。 2組 男



これからは自分だけを考えるのではなく
周りの人に思いやりの心をもって共生し
ていきたいです。 2組 女

45期生がさっちゃんを1人の仲間だと思
い、行事でみんなさっちゃんを支えて
きて、障がい児だからといって、特別な
ことはなくみんなと同じ環境で過ごし
てくれたことがよかった。 3組 女

親の気持ちや想いな
ど考えたことも本当
によかったです。

1組 男

障がいがある人に偏見を持っている人に
それは違うと教えていく。これが本当の
共生だと考えました。 2組 男

人のことを考えて行動して他者を
意識することが大事だと思いまし
た。 3組 男



両親が地域の学校に通わせるのは一番
心配だったと思います。その心配をなく
すのが私たちにとってできることだ
と思います。 3組 女

私は誰かを支えられる人になりたいと
思いました。中学校を卒業したらもっ
と関わる人が増える。だからこそ、人
の思っていることを感じとれるよう
になりたいです。 1組 女

自分の行動や言動を
改めて確認しようと
思いました。
1組 女

障がいがあってもみんなと同じ
ように学校に通えるのが当たり
前になってほしいなと思いまし
た。 1組 女

たとえ目が見えなくても、耳が聞こえな
くても、コミュニケーションを取ろうと
する気持ちがあれば理解し合えるもの
だと思った。 1組 男

